

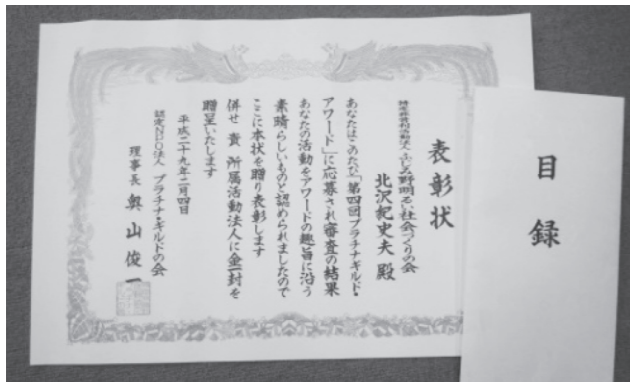


発行日：2017年9月30日

# ふじみ野市 支え愛 No.5 センターだより

発行・編集 NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会  
発行人 北沢紀史夫  
事務局 〒356-0053 ふじみ野市大井 2-15-10  
うれし野まちづくり会館2階  
TEL 049-293-6266

URL http://www.fujiminosasaeai.com/index.html

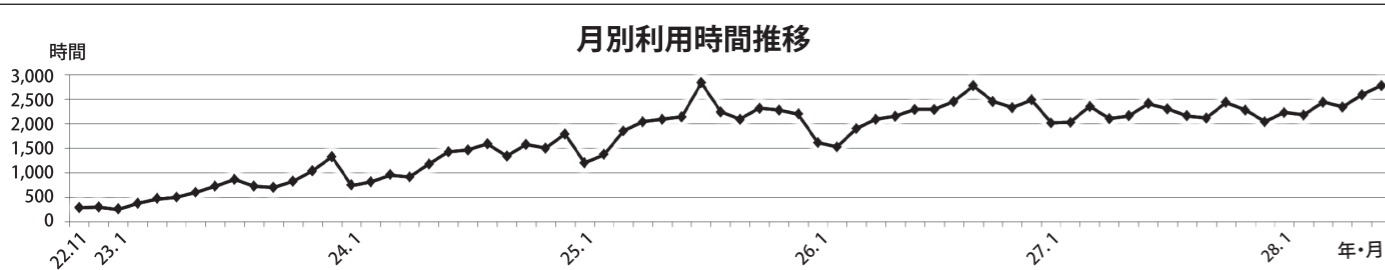


▲表彰状と賞金

「認定NPO法人プラチナ・ギルドの会」より《アクティブシニアの社会貢献活動を表彰する》という会の理念のもと、北沢代表個人に表彰状が、その団体「NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会」に賞金が授与されました。我々はこの賞の趣旨に鑑み、今後とも利他の精神を持って、更なるボランティア精神を育み、活動、実績を積み重ねながら、頂いた賞金共々社会に還元していきたいと考えております。



おかげさまで、7周年！ 本当にありがとうございます！！



## 喜びの連鎖

NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会  
代表理事 北沢紀史夫

日ごろ、賛助会員、ボランティア及び行政の皆様には大変お世話になりありがとうございます。かつて、東大の先生から線香花火と言われた支え愛センターも七年目を向かえましたが、利用時間数は、今だに増え続けています。これは、ボランティアの皆様が利用者に親切にしてくださいとお願いしていること及びこれまで国が行っていた要支援の方の担い手になって欲しいと市から頼まれたためと思います。そのため、慢性的なボランティア不足となつて

います。これを解消するためにボランティア大人塾を開講し、ボランティア精神の啓発を図っています。毎回、多くの受講生が、出席してくださっています。ボランティアをして、頼られ喜ばれ元気をもらったという話をよく耳にします。喜びが喜びを生んでいます。支え愛センターの目的は、あなたのいい顔見たいです。この理想が、現実となっております。喜びの連鎖を見させていただき感謝の気持ちで一杯です。

## ご利用者・賛助会員の声

### オアシスセンターに！

吉野 貞夫 様  
「利用券交換できますか？」  
「できますよ！」  
「これから孫の追っかけで、野球の試合の応援に行くんです」  
「お盆に孫達が、大勢来るんです」  
等ボランティアさんとの何気ない本音を聞ける会話が楽しみです。  
六年前のセンター設立時から、毎月ほぼ二回土曜日の電話当番を担当しています。  
これからも、元気な皆さんに会えるオアシスセンターであるように心がけたいと思っています。

### 心より感謝

高桑 政子 様  
主人の高齢者、免許返納後の自転車も、共に体調崩し使えず通院や外出等が苦勞でした。  
五年前テレビニュースでセンターを知り早速お願いしております。  
当初も今も、受付、付き添いの方々の優しい対応と利用料に驚きと共に、心より感謝しています。

### 安心と感謝の気持ち

桜井 康雄 様  
徐々に外出する事もむずかしく、特に、病院通いも増え困惑時に、友人にセンターを紹介頂き、即お願いしました。事務所、ボランティアの方々の明るく親切な対応に元気をもらっています。  
この様な事業にこそ行政の強力支援を望みます。

## 賛助会員企業・団体名簿一覧

- ・(株)協和清掃運輸
- ・近藤建設(株)
- ・(株)埼玉 金周
- ・ふじみ野健康マージャンクラブ
- ・NPO法人ふじみ野市学童保育の会
- ・(有)ムラ・デザインアート
- ・(株)吉岡
- ・美(よし)クッキング学園
- ・(有)吉野工務店

\*個人会員・・・87名

《平成28年度》  
《50音順 敬称略》

## 支え愛センター自衛隊コンサート inふじみ野

日時：平成30年2月3(土)13時30分～  
場所：ふじみ野市勤労福祉センター  
問合せ：049-293-6274

## ☺ 支え愛の輪を拡げましょう！“有償ボランティア”募集中！！

空いている時間を有効利用して、“何か人助けボランティア”をしてみませんか。関心のある方は、お気軽にご連絡ください。あなたのお力添えをお待ちしております。2時間で500円の商品券で地域振興にも一役かっています。

ふじみ野市支え愛センター  
TEL：049-293-6274  
電話受付時間：9時～16時30分  
定休日：日曜・祭日・年末年始

## 編集後記

・「支え愛だより」も発行5号となり、皆様のご協力に感謝しています。これからの企画発想はスタッフ全員参加で、更なる「ヤル気とステップアップ」を目指し共に元気な笑顔で頑張りましょう。(成田)  
・生活支援体制整備事業が各自治体の独自事業に任せられることに伴い、支え愛センターもその担い手の一翼となり、より多くのボランティアが必要とされています。多くの皆様の御参加、ご協力をお待ちしております。(武田)

# 共に助け 共に生きる 支え愛のまち

## ボランティアは人づくりと まちづくりの原動力

ふじみ野市教育委員会教育長

朝倉 孝

明るい社会づくりの会の皆様には、本市の子供達の健全育成に向け、ご尽力を賜り心から感謝申し上げます。

さて本市は本年度から「学校はひとつくりとまちづくりの好循環を生み出す地域の拠点」を合言葉にふじみ野市地域協働学校づくりに市長部局と協働のもと取り組んでいます。

人づくりがまちづくりに発展し、そのまちで育った子供が将来のまちづくりを担っていくことを目標にしています。

このような好環境を生み出す原動力は地域のために、子供達のために汗を流している大人の後ろ姿です。貴会の皆様のボランティア活動は、子供達に見せるべき大人の後姿にほかなりません。

今後地域協働学校の取組を市内全校に拡大するに当たり、皆様と各学校が目的、ビジョンを共有することが人づくりとまちづくりの好循環を促進させる上で最も大切です。

皆様の一層のご理解、ご協力を賜り、ひとつくりまちづくりの好循環に取り組んでまいりますと願っています。

## 堀尾 正明 講演会

二十九年一月二十一日(土)フリーキャスター堀尾正明氏を講師に迎え、埼玉県及びNPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会共催によるボランティア養成講座が開催されました。堀尾氏は「地域の課題は地域で解決出来る」と指摘し地域で支え合うことの重要性を語りました。

又ふじみ野市支え愛センターの紹介では副代表理事の説明、利用者の声、ボランティア大人塾々生の声等《共に助け共に生きる支え愛のまち》の活動を報告させて頂きました。

参加者六〇九名全員にアンケートを実施したところボランティア参加希望者二十九名、ボランティア募集養成のための「ボランティア大人塾」参加希望者三十名を頂きました。

引き続き二月八日(水)浦和コミュニティセンターで県主催の「地域支え合いの仕組み実施団体全体会議」が開催され、当会の実績を発表させて頂きました。



又意見交換会では今後の更なる充実のために共通の問題点とその対策等についての話し合いがワークショップ形式で行われました。

## ボランティア交流会

私達支え愛センターは時代のニーズ《市民の市民による市民のためのボランティア活動》に応えるため、2ヶ月に1度「ボランティア交流会」を開催し、毎回約70名の参加者で盛り上がっています。

ボランティアと事務局が、情報を伝達共有し、相互の理解を深めるために、感じた疑問点や利用者からの声等について、意見交換、質疑応答の時間をもち、問題解決と意思統一を図っています。

又研修のため高齢者向け交通安全の話、認知症の話等専門家からの話を聞かせていただき活動の糧としています。さらにランチミーティング、暑気払い、忘年会、研修旅行等も併せて開催し親睦を図りながら日頃の労をねぎらい、明日からの英気を養っています。



## 六周年記念式典 & 忘年会

昨年十二月十一(日)永年勤続感謝状授与式と忘年会に六十六名の方が参加しました。

\*北沢代表挨拶

\*年々の利用者増に今日までボランティアの皆様には、様々なご苦労と支え愛精神の「あなたのいい顔見たい」の優しさで頑張って頂き、地域の皆様に感謝されつつ、六周年を迎えられたことに心より感謝申し上げます。

\*これを機に毎年十二月に、五年以上勤続の方々に感謝の意を込め表彰制度化し、今年三十六名の方々が授与され、《来年はあなたですよ》の合言葉に元氣と誇りを持って頑張りましょう。

\*本年度最終交流会での表彰式の後には忘年会に、飲食と会員による生演奏ソロと合唱指導等で今年の出来事等振り返り、来年も良き年を願っての楽しい一日でした。

## ボランティア大人塾

内住 昭雄

月/日	平成30年講座内容
2/17	開講式 オリエンテーション 少子高齢化社会のイメージを転換
3/17	健康長生き講座
4/21	郷土の歴史
5/19	親子料理教室
6/16	お気軽に健康発声講座
7/21	がんと生活講座
9/15	楽器演奏
10/20	成年後見人について
11/17	楽器演奏 修了式

「ボランティア大人塾」も三期目を迎えることになりました。これまで地域での共助や高齢者の栄養学、音楽療法、遺産相続についてなどバラエティに富んだ講座で多くの方に受講していただきました。その中からは支え愛センターのボランティアや大人塾のスタッフへの参加など人のつながりもできております。

平成三十年の講座も新たな講師をお招きし、新鮮な内容の講座を用意しております。シニア世代のみならず若い方にも楽しんでいただけると思いますので是非多くの方の受講参加をお待ちしております。

共に学び、共に支え合う共助社会の為に「あなたのいい顔見たい」「あったかい町ふじみ野」の為にボランティアが広がる事を願っています。

紹介する側から

働く側になって

宍戸 貴子



民生委員の活動中「足が痛くて買い物に行けず困っている」と声をかけられ、支え愛センターの電話番号を教え、次にその方とお会いした時に「本当にあの時は大助かり、気楽に頼めて嬉しかった」と感謝していました。

民生委員の友人に支え愛センターへ誘われ登録し、大人塾へも参加しボランティアの勉強をしながら実践を開始しました。

掃除、買い物、料理そして傾聴の仕事です。それぞれ内容は違いますが、自分の能力内で一生懸命頑張っているように思います。

この歳になって「ありがとう。今度はいつ来てくれますか」と言葉頂き感激しております。

この先も「ありがとう」の言葉をいっぱいもらえるよう頑張ります。